

株式会社グローボックス
代表取締役社長
後藤 大介さん

モノづくり
×
スポーツ

経済学部1997年卒業。エンジニアや営業マンとして経験を積み、27歳で中国大連市にて起業。2社目を立ち上げた後、2007年に株式会社グローボックスを設立。

■ 経歴を教えてください

大学卒業後は自動車メーカーでエンジニアとして2年、次にベンチャー商社で営業マンとして2年の経験を積んだ後、27歳で中国大連市に渡り、現地法人を設立しました。日本ではなく海外での起業だった訳です。2006年には、中国の広東省で新たに1社を設立した後、日本に基盤を移し、株式会社グローボックスを設立しました。今年、中国の天津市に更にもう1社を設立しましたので、海外3社、日本2社(グループ会社含む)の経営を管理していることになります。

■ ロボット会社やサッカーチームの運営など、複数のお仕事をされていると伺いました

中国の3つの会社は製造業です。産業用ロボットを活用した工場の生産ラインを開発製造しています。日本本社は自動車関連を中心に中国と同じ製造をしながら、新しい部門として、2009年に子どもたちにロボット教室を開き、同時に名古屋市内にロボット専門店ROBO-BASEをオープンしました。

その後も、テレビ塔1Fでフェアトレードの専門店やカフェを期間限定で運営したり、最近では、地元の三重県にて子ども向けのスポーツ教室として、サッカーやランニングクラブを始めたばかりです。サッカーは元Jリーグのコーチなどに協力していただき、三重県で初めてのJリーグ参入を目指しています。ランニングは北京五輪代表の池田久美子さんをコーチに迎え、走り方を教えています。モノづくりはB to B(企業向け)であり、教室はB to C(一般向け)ですので、広告の出し方、営業の仕方が全く違い、経営者として楽しみながら経営をしています。

■ 今後の目標を教えてください

社名に込められた「グローバルに最大限に攻める」ことを実現したい。今は中国ですが、ASEANや欧州など次の進出先も検討中です。同時に、自分が住む三重県をプロスポーツを軸に活性化し、子どもたちが夢と希望を持てるような元気な日本にしていきたいと思っています。強い情熱を持ち走り続けます!



グローバルに
強い情熱を持ち
攻め続ける

後藤さんのお仕事を拝見!



ロボット教室は、名古屋市や桑名市、四日市市などで開催中
www.robo-base.com



Jリーグ参入を目指す「ヴェアティンFC」を三重県に設立
www.veertien.jp/fc